

岡田 (友), 山崎, 篠原, 土信田, 亀島 (記)

1. 報告事項

会長より北川隆司 前粘土科学編集委員長のご逝去に際して、学会より献花を行ったことの報告があった。

また、総会で黙祷を行うとの説明があった。

- (1) 編集 (粘土科学) : 篠原 新編集委員長よりの挨拶の後、第48巻の発行報告、原稿の協力要請があった。
- (2) 編集 (Clay Science : 成田) : Vol.14 No.1, No.2の発行報告、Vol.14 No.3 (審査中論文2本) の報告、原稿の協力要請があった (別紙)。
- (3) 会計 : 特になし
- (4) 行事 (代理 : 成田) : 第53回粘土科学討論会の準備状況、発表件数などの報告 (別紙)。
- (5) 国際協力 (代理 : 山田) : 日本-米-スペイン3国国際会議への協力要請の報告。
- (6) 企画 (標準粘土・研究グループ・ホームページ) : (高木) : 研究グループの終了報告があり、研究グループのあり方について意見交換した。
(岡田 (友)) : 将来問題 WG 答申のホームページへの掲載について報告があった。
- (7) 庶務 (会員の動向・研連等) : (山崎) : 会員動向 (別紙) についての報告、地球惑星連合への対応について意見交換した。
- (8) 事務局 (土信田) : 特になし

2. 審議事項

- (1) 平成21年度決算および会計監査 (代理 : 土信田) : 平成21年度の収支決算および監査報告の説明があり、評議員会に諮ることとした。
- (2) 平成22年度予算案 (代理 : 土信田) : 平成22年度の予算 (配付資料) 内容に関して説明された。討論会費については、次年度から60万円+シンポジウム経費に変更する案を評議員会に諮ることとした。
- (3) 名誉会員の推挙 (井上副会長) : 西山勉会員の名誉会員への推薦について説明 (配付資料) があり、評議員会に諮ることとした。
- (4) 総会の議事次第 (山田) : 平成21年度日本粘土学会総会議事次第 (配付資料) について説明があり、各担当の確認を行った。
- (5) 将来問題検討 WG 答申書 (代理 : 八田) : 答申書 (配付資料) について説明があり、その対応 (財源など) を協議した。その結果、会長より総会で答申に対する具体的な動き (次年度の Asian Clay, 両論文誌の対応など) を説明する案を評議員会に諮ることになった。
- (6) 粘土科学発行案 (篠原) : 2010年度以降の発行号数に対する編集委員会案 (配付資料) として、年3号発行の提案があった。協議した結果、この案を評議員会に提案することとした。
- (7) 粘土科学 (北川先生追悼号) の発行 (篠原) : 追悼

号を含む49巻の発行計画に対する説明 (配付資料) があり、追悼号のあり方等について意見交換し、評議員会で意見を聞くこととした。

- (8) 日本-米-スペイン3国国際会議 (代理 : 山田) : 3国国際会議への若手研究者・学生の参加を促すため、学術振興基金の特例的な助成案 (配付資料) の説明があった。詳細は評議員会で議論することになった。
- (9) JST 電子アーカイブ化 (山田) : 電子化推進要望書の受理、電子化による再構築について、著作権の帰属、公開論文範囲、および公開制限に関して説明があった。評議員会で公開範囲について審議し、総会で著作権の作業等のアナウンスを行うこととした。

平成21年度第4回日本粘土学会評議委員会議事録

日 時 : 平成21年9月10日(木) 12:00~13:00

会 場 : 岩手大学 学生センター棟4階 G41講義室

出席者 (順不同、敬称略) :

岡田 (清), 井上, 山田, 篠原, 成田, 河野, 會澤, 高木, 鈴木 (正), 宮脇, 岡田 (友), 八田, 井伊, 上原 (元), 小暮, 佐藤 (久), 地下, 鈴木 (憲), 西浜, 日比野, 福嶋, 松枝, 久保, 柳本, 土信田, 亀島 (記)

会長より北川隆司 前粘土科学編集委員長のご逝去に際して、学会より献花を行ったことの報告があった。また、総会で黙祷を行うとの説明があった。篠原粘土科学編集委員長が紹介された。

1. 審議事項

- (1) 平成21年度決算 (河野) : 平成21年度収支決算 (配付資料) の報告があり、了承された。
- (2) 平成21年度会計監査 (久保) : 平成21年度会計監査 (配付資料) に関する報告があり、了承された。
- (3) 平成22年度予算案 (河野) : 平成22年度予算案の提案説明があり、了承された。
- (4) 名誉会員の推挙 (井上) : 西山勉会員の名誉会員推薦 (配付資料) について説明があり、了承された。
- (5) 総会の議事次第 (山田) : 平成21年度日本粘土学会総会議事次第 (配付資料) について説明があり、了承された。
- (6) 将来問題検討WG答申 (代理 : 八田) : 答申書 (配付資料) について説明があり、その対応 (財源など) について審議した。その結果、Clay Science 誌のインパクトファクター獲得、国際会議開催等の答申内容を尊重し、総会で会長より本答申内容に沿って活動を進めるとの方針提案を行うことになった。
- (7) 粘土科学に関する変更案 (篠原) : 編集委員会の体制に関する変更案と年間の発行数を3号とする案について説明があり、了承された。

- (8) 粘土科学（北川先生追悼号）（篠原）：提案の趣旨説明があった。審議した結果、その位置づけ等についてさらに検討することとなった。
- (9) 日本－米－スペイン3国国際会議（山田）：3国国際会議に参加する若手研究者・学生への学術振興基金による助成案（配付資料）の説明があった。協議の結果、特例として通常の助成よりも大規模に行うことが承認された。また会長より、次年度のワークショップについても、助成する方針の提案があり、協議の結果、了承された。
- (10) JST 電子アーカイブ化（山田）：電子化推進要望書

の受理、電子化による再構築について、著作権の帰属、公開論文範囲、および公開制限に関して説明があった。公開範囲について審議した結果、具体的対応については常務委員長一任とすることになった。総会では、著作権の作業等のアナウンスを行うこととした。

- (11) その他：特になし

2. 報告事項

すべて総会で報告することとして了承された。